

STEP4：タイムライン最終案の作成

無理な行動の見直し、代替手段の検討を行い、最終案を作成します。内容によっては行政機関との調整が必要になることがあります。

タイムラインの見直し例：網掛け箇所

- 避難場所開設と避難完了のミスマッチ ⇒ 開設準備の前倒しで対応
- 30 分前の安全確保完了の達成 ⇒ 避難連絡の前倒しで対応

	国（県） （気象庁）	市町		自主防災 組織	住民・ 要配慮者
		情報発信	行動		
-0h	大雨注意報 （メッシュL1）	防災メール	第1警戒体制	情報収集 （防災メール）	情報収集 （防災メール）
-3h	大雨警報 （メッシュL2）	防災メール	第2警戒体制	情報収集 （防災メール）	情報収集 （防災メール）
		避難準備情報 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）	避難場所 開設準備 （完了に30分）	情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）	情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）
-2h	土砂災害 警戒情報 （メッシュL3）		避難場所開設	避難支援	自主避難 （要配慮者） （完了に30分）
		避難勧告 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）		情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）	情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）
-1h			安否報告受領	←安否確認 連絡網による 避難連絡→ （避難し遅れた人）	避難開始 （要配慮者以外） （完了に15分） 避難開始 （完了に15分）
-0.5h 住民避難完了	記録的短時間 大雨情報	避難指示 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）		情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）	情報収集 （屋外ｽﾍﾞｰｶｰ ・防災メール）
0アワー 土砂災害発生	（メッシュL4） 市町支援（県）		本部体制 救助救出活動	←災害情報把握 ←救援要請	←救援要請

備えておきましょう 非常用持ち出し袋 日頃の準備が自分や家族を守る

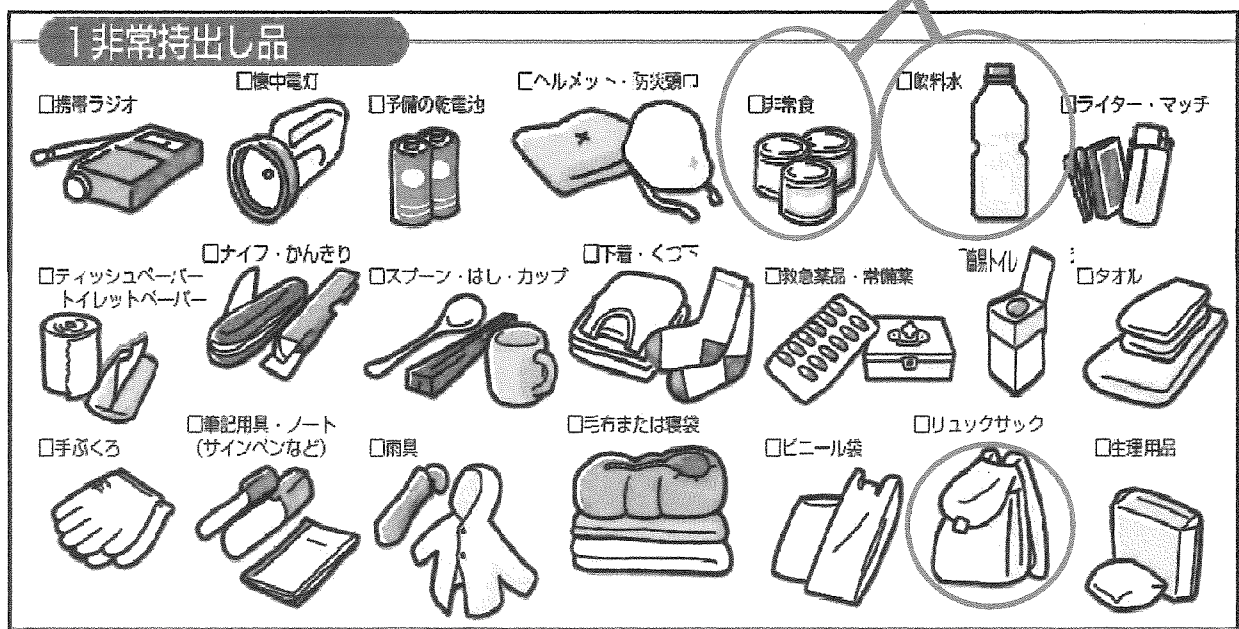
防災用品購入費補助金始めました！

家庭における非常持出し品・備蓄品は、非常持出し袋などに入れて、いつでも持ち出せる場所に置きましょう。

「わが家の非常持出しリスト」を作成し、定期的に点検を行いましょう。
用意したものは是非この機会に補助金を利用して、家庭内の備蓄を始めましょう!!

※以下の図は一例になります。○は必ずご購入ください。

3年以上保存ができるもの



※季節に応じたジャンパー等の上着は対象外とします

御前崎市防災用品購入費補助金

対象者	補助額
御前崎市に住民登録がある世帯で 1世帯につき1度限りの申請となります。	総額の3分の2で上限10,000円
ただし、5人以上の世帯については2回目の 申請ができます。	総額の3分の2で上限7,000円

⑧ 御前崎市公共料金や市税に滞納がある場合は補助対象となりませんのでご注意ください。

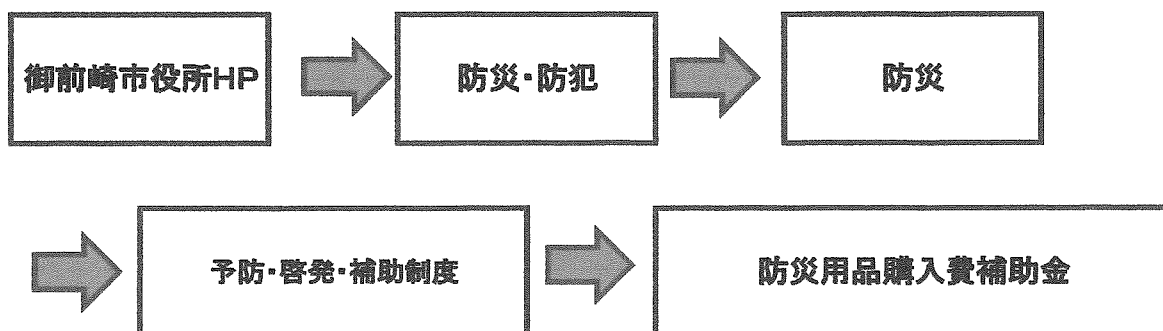
申請方法につきましては、裏面をご覧ください。

申請方法

購入後の申請となります。

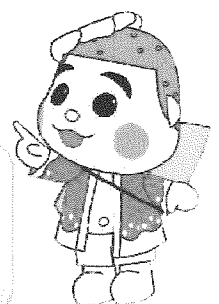
STEP1	・リュックサックと非常食・保存水(3年以上保存できるもの)は必ずご購入ください。
商品購入	・このほかの非常持出し品・備蓄用品は、各家庭で必要なものをご購入ください。
STEP2	・申請書 ・購入した商品の写真 ・領収書等(購入内訳が分かるもの)
申請書の提出	・請求書 ・滞納調査同意書 ② 申請及び請求額については、1,000円未満切り捨てとなります。
STEP3	・危機管理課から交付決定通知書が届きます。
交付決定	
STEP4	・申請から補助金の振込みまでは、2ヵ月程度を要します。ご了承ください。
補助金交付	

申請書ダウンロード



ご不明の点やご相談の際には危機管理課までお願いします。

問い合わせ先 御前崎市危機管理課
電話番号 0537-85-1119



地域ぐるみの取組の事例 ②

佐賀県武雄市 武雄地区有害鳥獣広域駆除対策協議会

イノシシの捕獲・棲み分け・防除による総合的な取組 (H24生産局長賞)

- 武雄市の「いのしし課」を中心として、農協、農業共済組合、森林組合等で「鳥獣被害対策チーム」を結成し、一体となって対策を推進。
- 近隣自治体(長崎県も含む)と連携し、GISを活用したイノシシ対策情報システムを整備し、被害状況や捕獲状況等の情報を共有。
- 技術レベルの高い猟友会員で構成する「鳥獣被害対策実施隊(トツテクレンジャー)」を組織化して捕獲活動を行うとともに、集落が一体となった農作物残渣の除去や緩衝帯整備、「いのししパトロール隊」による防護柵等の点検・巡回指導など、「捕獲・棲み分け・防除」の取り組みを総合的に実施。



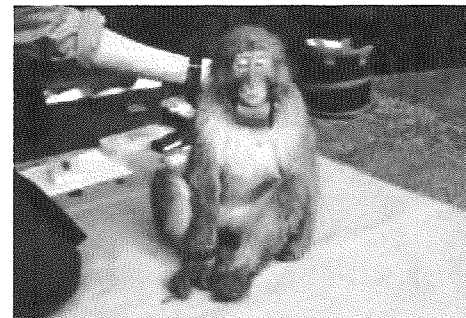
いのしし課の設置

鳥獣被害対策実施隊
(トツテクレンジャー)

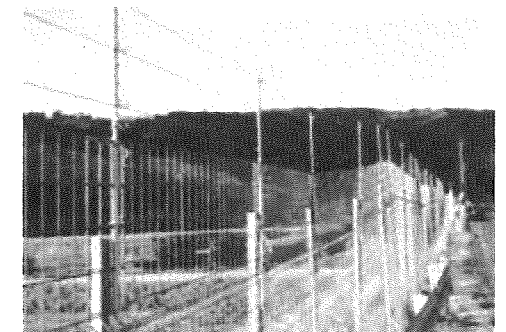
三重県伊賀市 阿波地域住民自治協議会

地域住民が一丸となった追い払いによりサル被害を軽減 (H25農林水産大臣賞)

- サルによる農作物被害や住居侵入に対応するため、地域住民の全員が自発的に被害防止活動の担い手となって、自らが定めた追い払い手順に基づき、山頂付近にまで徹底的に追い払うなどにより、餌場にされにくい集落づくりを実践し、被害を大幅に軽減。
- 被害のために耕作を諦めざるを得なかった畑で営農を再開するなど、地域の活性化に大きく貢献。
- 地域住民が一丸となったこの取組は、サル被害に強い集落づくりのモデルとなり、周辺地域のみならず、サル被害に苦しむ県内外の地域にも普及。



発信器を取り付けたサル

多獣種用侵入防止柵
(おじろ用心棒タイプ)